



## » 第3四半期のトピックスをご案内します。

### 物流業界の働き方改革を支援

JBCCは、Ecoシステムクラウドサービス「俺のクラウド」に、株式会社セイノー情報サービスの倉庫管理システムと、株式会社サトーの庫内業務改善ソリューションを新たに加え、既にサービス中の「NX販売支援」と連携し、受注処理から入出荷作業まで、物流業務をトータルに支援するクラウドサービスを発表しました。

業務手順の最適化や作業の標準化を実現し、適材適所の人員配置、作業の属人化の軽減、省人化実現にも寄与し、物流現場の慢性的な人員不足、長時間労働などの課題に、働き方改革で貢献します。

「俺のクラウド」は、サービスメニューの拡充を進め、現在約8,000ユーザーにご利用いただいています。

» <https://orenocloud.tokyo/>

### 東証IRフェスタ2018に出展します

今年も、東証IRフェスタ2018に出展します。当日は、企業ブースや会社説明会で当社をご紹介いたします。ぜひ、ご来場ください。

- 開催:2018年3月16日(金)~17日(土) 10:00~18:00
- 会場:パシフィコ横浜 展示ホールB
- 主催:日本取引所グループ/東京証券取引所
- 企業ブース:C-02
- 会社説明会:3月16日(金) 13:35~14:20 会場⑤



昨年出展の様子

【公式サイト】 <http://www.tse-irfesta.com/>

### 発展途上国の子どもたちに

### JBグループのCSR

JBCC新大阪事業所を中心に、不要となったおもちゃ・ぬいぐるみ・玩具などを集め、国際子供友好協会(\*)に寄付をしました。国際子供友好協会は、寄付された物品を発展途上国の子供達に直接手渡す支援を行っている特定非営利活動(NPO)法人です。この活動は、2016年から始めて今回で2年目の寄付となります。



集まった文具やぬいぐるみ。他にも、フィギュアやブロック、バッグ、アクセサリー、衣類、靴、ベビーカー、ミニタオルなどが集まりました。

(\*)国際子供友好協会: <http://npo-icfa.org/>

### さまざまな情報発信をしています。

当社ホームページでは、業績・財務情報をはじめとして最新情報をご案内しています。Facebook、Twitterでは、身近な社員の活動などもご紹介しています。

業績などIR情報(企業サイト) » <https://www.jbcchd.co.jp/ir/>  
ソリューションなど事業情報(グループサイト) » <http://www.jbgroup.jp/>  
Facebook » <https://www.facebook.com/jbcchd>  
Twitter » <https://twitter.com/jbcchd>



### 【IRメール配信サービス(無料)のご案内

当社の業績など適時開示内容や当グループ内の最新情報をメールでお知らせします。配信をご希望の方は、下記よりご登録ください。

登録サイト

<https://www.jbcchd.co.jp/mail/>

### 決算などの財務情報に関するご質問は

**0120-887-652** 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)  
e-mail: [ir@jbcc.co.jp](mailto:ir@jbcc.co.jp)

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれていません。実際の業績は予想と大きく異なることがありますをご承知おきください。

## 株主通信 <第54期 第3四半期>

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1  
ニッセイアロマスクエア15F  
JBCCホールディングス株式会社  
広報IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

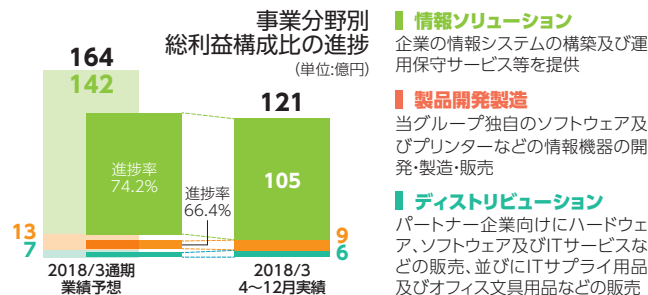
※本通信は2017年9月末時点での株主様にお送りしています。

01 OPEN

トップメッセージはこちらから。

【ご注意】濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

## ▶▶▶ 第3四半期(4~12月)の概況をお知らせいたします。



**情報ソリューション** ▶▶▶ 売上高 **398億25百万円** (通期予想進捗率 73.8%)  
▶▶▶ 総利益 **105億80百万円** (通期予想進捗率 74.2%)

情報ソリューション分野全体としては、高付加価値ビジネスへのシフトや効率化等の取り組みにより利益を確保しています。

- サービスビジネスは、導入サービスやお客様のセキュリティ強化によりセキュリティサービスが堅調に推移
- システム開発は、大型案件の減少もあり前年同期に比して売上が減少
- システム(ハードウェア等)は、次世代仮想化ソリューション・ビジネスが伸長したが、クラウドシフトの加速により売上が減少

**製品開発製造** ▶▶▶ 売上高 **18億04百万円** (通期予想進捗率 72.2%)  
▶▶▶ 総利益 **9億22百万円** (通期予想進捗率 66.4%)

収益性の高いソフトウェアソリューションが着実に伸長してきています。

- 生産管理システム[R-PICS]は、導入や開発の売上が伸長し、ビジネスに寄与
- JBソフトウェアは、情報連携支援ソリューションの売上が伸長
- ハードウェアは、[Optimized PC 2.0](\*)の大口売上があったが、主力のインパクトプリンターの売上は需要の縮小による減少傾向が継続

(※)お客様の利用形態に最適化されたクライアント端末及びその環境(既存のPCとシンクライアント、双方の特徴を持ち利便性と機密性を兼ね備えている)

**ディストリビューション** ▶▶▶ 売上高 **67億58百万円**  
▶▶▶ 総利益 **6億98百万円** (第1四半期連結累計期間のみ)

第1四半期末において、ディストリビューション分野に属する株式会社イグアスの株主を全て売却したことに伴い、第2・第3四半期はビジネス活動を行っていないことから、第1四半期の実績のみを記載しています。

トピックスはこちらから。

## ▶▶▶ ごあいさつ

平素は当社の経営に一方ならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2017年度第3四半期が終了しましたので、連結決算概況をご報告いたします。

ITサービス市場の動向は、既存システムの更新に加え、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)等、新たなIT活用が目目され、IT投資も緩やかに伸長しています。当社の主なお客様である中堅企業においても同様の傾向が見られます。

このような中、連結累計業績予想の進捗は、第1四半期連結会計期間末に連結子会社であった株式会社イグアスの全株主を売却したこともあり、前年同期比では減収となりましたが、収益向上の取り組みにより増益となりました。売上、利益ともいずれも公表値に対して75%以上の進捗となり、順調に推移しております。

以上を踏まえ、2017年5月9日に公表した通期の連結業績予想に変更はございません。

当第3四半期の連結業績は以下のとおりです。

### 当第3四半期の連結業績ハイライト

売上高	483億87百万円	[前年同期比21.8%減] [通期予想進捗率76.8%]
営業利益	15億68百万円	[前年同期比4.3%増] [通期予想進捗率82.6%]
経常利益	15億88百万円	[前年同期比3.0%増] [通期予想進捗率81.5%]
[親会社株主に帰属する四半期純利益]	10億11百万円	[前年同期比2.2%増] [通期予想進捗率81.0%]

第4四半期以降についても、第3四半期に続き、IT投資は回復が進むとされている中、当社はお客様のデジタルトランスフォーメーションのご支援を引き続き積極的に行ってまいります。

具体的な取り組みとしては、2017年度からスタートした中期経営計画に掲げた、7つの成長事業(WILD7:クラウドサービス、NewSI(新システム開発)、セキュリティ、JBソフトウェア、ヘルスケア、3D事業、人財育成)の推進により、ビジネスの拡大を図ってまいります。

今後とも株主の皆様のご期待に沿えるよう、グループ一丸となって、目標達成に向けて、全力を尽くしてまいりますので一層のご支援ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。



2018年2月  
代表取締役社長

山田 隆司

### 配当・株主還元について

株主様アンケートでもご質問をいただいております[配当・株主還元]について、当社はすべての株主様に利益を還元することが重要と考え、株主優待の実施ではなく配当の実施および自己株式の取得・消却により株主の皆様へ利益を還元しております。特に剰余金の配当については、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。